

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンクテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

JUNE 2023

91

● 社長インタビュー

厳しい事業環境においても
次のステージへの施策を推進

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

● LINTEC ESSAY

批評が難しい日本

安東 弘樹

第129期
(2023年3月期)
決算情報

証券コード：7966

LINTEC WAVE 91

JUNE 2023



ほうげんだけ
宝剣岳(2,931m、長野県)

株主・投資家の皆様とまだ見ぬ高みを目指すという思いを込め、今年度の当誌では日本百名山の風景を表紙としています。

目次

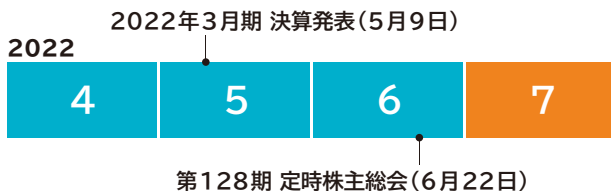
- 2 1年間の主な動き
- 4 社長インタビュー
厳しい事業環境においても
次のステージへの施策を推進
代表取締役社長 服部 真
社長執行役員
- 8 FRONT LINE
- 9 2023年度 新聞広告シリーズ
- 10 LINTEC ESSAY
批評が難しい日本 安東 弘樹
- 12 決算情報
- 14 セグメント情報
- 17 会社概要/役員一覧
- 18 株式情報
- 19 アンケートへのご協力をお願い

※当第1四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る連結財政状態の数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(免責事項)

業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

1年間の主な動き



- 4月1日
 - ・封筒用紙をはじめとする特殊紙製品を対象に価格改定の実施を発表。年間を通じて、粘着製品なども含めた価格改定を随時実施
- 4月4日
 - ・東京証券取引所の市場区分再編に伴い、「プライム市場」に移行
- 5月9日
 - ・プラスチック使用量削減に貢献する、高平滑グラシン剥離紙を発売
- 7月21日
 - ・自己株式の取得終了を発表
(取得した株式の総数400万株/取得価額の総額約101億円)
- 8月1日
 - ・吾妻工場(群馬県)における半導体関連粘着テープの生産設備増強(総投資額約45億円)を発表



2023年3月期 第1四半期 決算発表(8月8日)



2023年3月期 第2四半期 決算発表(11月10日)

2023年3月期 第3四半期 決算発表(2月10日)

9月1日

- ダイレクトサーマルプリンタに対応したプラスチック代替ラベル素材の新アイテムを追加



12月21～25日

- 「第91回全日本フィギュアスケート選手権大会」に協賛

1月19日

- サインディスプレイ用・インテリア用素材の販売および関連サービスの提供を手がける子会社2社の合併を発表

2月1日

- 環境負荷の少ないホットメルト粘着剤を使用したラベル素材のラインアップを拡充

9月13日

- 電動モーター駆動の新型ラベルリングマシン「L-VIS II EL」
エルビス ツー イーエル
を発売



11月30日

- PET製容器とのモノマテリアル(単一素材)化を実現したラベル素材を発売



2月15日

- デジタル印刷機対応の環境配慮ラベル素材を発売



厳しい事業環境においても 次のステージへの施策を推進

当社グループでは2030年を見据えた長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030 (LSV 2030)」を掲げるとともに、2024年3月期を最終年度とする中期経営計画「LSV 2030 - Stage 1」を推進しています。同計画の最終年度を迎え、前期の振り返りや今後の見通しについて服部社長に聞きました。



2030年3月期財務指標

売上高営業利益率 **12%以上**
ROE (自己資本当期純利益率) **10%以上**

代表取締役社長
社長執行役員

はっとり まこと
服部 真

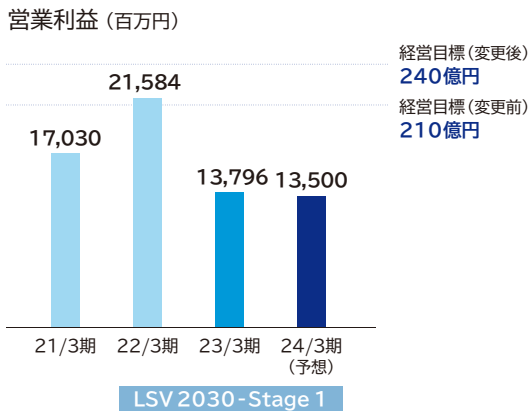
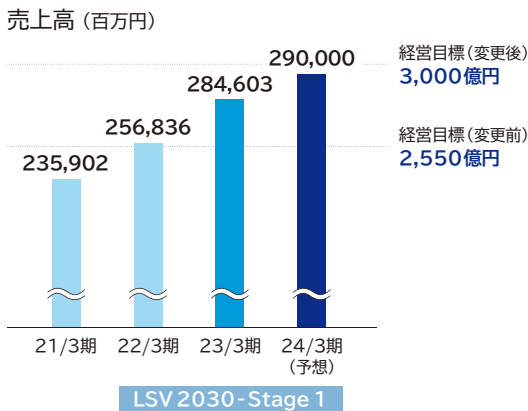
Q 最初に前期業績の振り返りをお願いします。

A 2023年3月期はロシアによるウクライナ侵攻、米中対立、欧米各国のインフレ抑制に向けた金利政策、サプライチェーンの混乱などを背景とした原燃料価格の高騰や物価上昇による購買意欲の低下などがあり、当社グループを取り巻く事業環境は急速に悪化しました。売上高は米国での買収効果や円安影響も加わって増収となりましたが、利益面では徹底したコスト削減や製品の価格改定に取り組んだものの、パルプをはじめとする原燃料

価格の大幅な上昇をカバーするまでには至りませんでした。また、これまで業績をけん引してきた電子・光学関連製品の需要が急激に減少し、生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加したことなどにより、大幅な減益となりました。そのような中、2016年末に買収して以降、のれん償却負担が大きく営業損失が続いていた米国のマックタック・アメリカ社が、先述の買収効果などによって黒字転換したことは明るい材料となりました。

2023年3月期連結業績(前期比)

| | | | |
|------|---------------------|-----------------|--------------------|
| 売上高 | 284,603 百万円(10.8%増) | 経常利益 | 15,602 百万円(31.3%減) |
| 営業利益 | 13,796 百万円(36.1%減) | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 11,512 百万円(30.8%減) |



Q 続いて今期の見通しについて教えてください。

A 2024年3月期につきましては、エレクトロニクス市場の低迷や原燃料価格の高止まりなどの影響を大きく受けると見ており、業績予想は増収減益としました。今期が最終年度となる「LSV 2030 - Stage 1」の経営目標については、2021年5月発表の数値目標は初年度で達成することができましたが、2年目に変更した目標には残念ながら未達となる見通しです（P5グラフ参照）。前期以上に厳しい年になると見ていますが、引き続き徹底的な

コスト削減や生産性の向上、価格改定などを進めることで、業績改善に努めてまいります。

2024年3月期連結業績予想（前期比）

| | |
|-----------------|----------------|
| 売上高 | 2,900億円（1.9%増） |
| 営業利益 | 135億円（2.1%減） |
| 経常利益 | 135億円（13.5%減） |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 95億円（17.5%減） |

Q 株主還元についてはどのようにお考えですか。

A まず、前期の期末配当につきましては当初予想どおりの1株当たり44円とし、年間で88円とさせていただきます。そして株主還元の姿勢をより明確にするために、今期から配当に関する基本方針を変更いたします。当社では直近10年間にわたり減配はしていませんでした

が、さらに今後4年間は減配しないことを明言し、指標としてDOE（株主資本配当率）を掲げることで資本効率も意識しながら、株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。この方針に基づき、今期の1株当たり配当金は88円を予定しており、配当性向は63.3%となる見込みです。

2024年3月期以降の配当に関する基本方針

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、現在進行中の中期経営計画「LSV 2030 - Stage 1」の最終年度である2024年3月期から、次期中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」（2024年4月～2027年3月）の最終年度である2027年3月期までの4年間は原則として減配せず、配当性向40%以上またはDOE（株主資本配当率）3%を目途に配当を行うことといたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。

Q 最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

A 当社を取り巻く事業環境は非常に厳しい状況にあります。長期ビジョン達成に向けて、次期3か年中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」(2024年4月～2027年3月)で好スタートを切るために、今期も積極的な投資を実施していく方針です。現在は調整局面にあるものの今後さらなる需要拡大が期待される半導体関連粘着テープ・積層セラミックコンデンサ関連テープの増産設備や2030年までに2013

年度比で50%以上のCO₂排出量を削減するための環境対応設備など、今期は過去最大となる225億円の投資を計画しており、研究開発費も過去最大の94億円となる見込みです。またPBR(株価純資産倍率)1倍割れの改善についても極めて重要な課題と認識しており、資本コストや株価を強く意識した経営に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

長期ビジョン 「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030」(略称:LSV 2030)

基本方針 イノベーションによる企業体質の強靱化と持続的成長に向けた
新製品・新事業の創出を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する

重点テーマ 1. 社会的課題の解決

- (1) 環境…脱炭素社会・循環型社会の実現への貢献 など
- (2) 社会…人権の尊重、ステークホルダーへの情報開示とコミュニケーション強化 など
- (3) ガバナンス…コーポレートガバナンスの強化、取締役会の実効性のさらなる向上 など
- (4) 事業活動を通じたSDGs*達成への貢献

2. イノベーションによる企業体質の強靱化

- (1) DXによる設計・開発・製造・物流・業務プロセスの変革
- (2) ビルド&スクラップによる省エネ、高品質、高効率、省人化を目的とした新規生産設備の導入
- (3) 生産プロセス革新によるコスト競争力の強化
- (4) 低成長・不採算事業の構造改革とグループ会社の経営健全化
- (5) 強固な財務基盤の維持と資本効率の向上

3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

- (1) 技術革新による新製品・新事業の創出
- (2) 戦略的投資の拡大と機動的M&A
- (3) さらなるグローバルプレーヤーへの飛躍
- (4) ローカリゼーションの確立

*SDGs(エス・ディー・ジーズ): Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年に国連サミットで採択され、持続可能な社会の実現に向けた17の目標(ゴール)と169の指標(ターゲット)で構成される

フロントライン
FRONT LINE
— 最前線 —

各現場の最前線で活躍中の社員を紹介する当コーナー。今回は、粘着製品に使用される剥離紙・剥離フィルムの開発に携わる研究員をご紹介します。



研究所 製品研究部
剥離材料研究室
かわむら ななみ
河村 七海

2016年に入社し、研究所に配属。シール・ラベル用粘着製品に使用される剥離紙や光学ディスプレイ関連粘着製品向けの剥離フィルムなどの開発に従事。

Q 現在の仕事について教えてください。

製造時に有機溶剤を使わない無溶剤型剥離紙の開発を主に担当しています。環境配慮が求められる中、無溶剤化は最重要テーマの一つであり、高い要求品質を満たす新処方確立に注力しています。また、車載用タッチパネルなどに使用される特殊粘着製品向けの剥離フィルムの開発も行っています。



無溶剤型剥離紙

当社では環境負荷の低減に向けて、無溶剤型剥離紙の開発・製造・販売を強化しています。現在、生産量ベースで約65%の剥離紙を無溶剤化しており、2030年までに無溶剤化率100%を目指しています。

Q 育児中とのことですが、仕事と家庭の両立は大変ではないですか。

現在は時短勤務制度を利用しており、有給休暇も取りやすく、私のような共働き家庭でも働きやすい環境だと思います。上長には業務の進捗を気にかけていただき、保育園からの呼び出しがあれば同僚にサポートしてもらうなど、周囲の協力を感謝しています。制度や職場の理解のおかげで好きな研究職を続けることができ、とてもありがたいです。今後のさらなる制度の充実にも期待しています。

Q 新たに取り組みたいことや将来の目標を教えてください。



時短勤務では限られた時間の中で、効率良く成果を出していかなければなりません。例えば、ある物性を発現する配合を求めるためにさまざまな材料や分量の組み合わせを試すのではなく、統計学を活用することで、より少ない実験から最適解を導き出す手法を自分なりに習得したいと考えています。また剥離材料の追究に加え、粘着剤の知識も身につけて粘着製品をトータルに設計できる人材を目指していきたいですね。

十二人一首



日本古来の百人一首をモチーフに、持続可能な社会の実現に向けて当社が生み出している製品などを紹介する新聞広告シリーズです。和歌風のキャッチコピーをあしらった絵札のビジュアルで1年間にわたって月替わりで展開します。

【主な掲載紙】

日本経済新聞、読賣新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞

この一枚かな

行く方へに続く

創り出し

渡る我らが

今の世を

持続可能な社会の実現に向けて一枚の素材で貢献してゆく

リンテック株式会社

卯月

4月掲載広告

リンテックは持続可能な社会の実現に向けて、粘着製品や特殊紙などのさまざまなシート状の素材を製造・販売しています。現代の私たちが創り出す1枚1枚がより良い未来につながっていくよう、環境に配慮した製品や安心・安全な暮らしに貢献する製品の開発に努めていきます。



皐月

5月掲載広告

住宅や店舗などの窓に貼るだけで防犯対策として機能するリンテックの窓ガラス用フィルム。ガラス破りに5分以上掛かると空き巣の約7割が侵入を諦めると言われ、優れた耐貫通性と耐衝撃性でガラス開口部からの侵入を難しくするこの1枚が、暮らしに安心を提供します。

わが窓の守りの堅きこの一枚

ながながし夜も心安く寝む

窓ガラスに貼ることで侵入を防ぎ防犯対策に効果的なフィルム

リンテック株式会社

水無月

6月掲載広告

環境配慮製品の提案に注力しているリンテックでは、植物由来原料を使用しながら従来の機能性を損なわないバイオマスラベル素材のアイテムを拡充。強粘着タイプや容器からきれいに剝がせる再剥離タイプなどをラインアップしており、エコな1枚がCO₂排出量の削減に貢献します。

草木より新たな素材生まればむべこの一枚をエコといふらむ

植物由来の原料を使用した環境に優しいラベル素材

リンテック株式会社

製品の詳細は右記のウェブサイトにて御覧いただけます。

DREAM FACTORY
www.lintec.co.jp/dream/ad/



批評が難しい日本

安東 弘樹

私はフリーランスでアナウンサーという仕事をしています。また、日本で新しく販売された自動車の中から「今年の1台」を選ぶ日本カー・オブ・ザ・イヤー（以下COTY）の選考委員を拝命しております。その立場で、車のメーカーや輸入会社がジャーナリストを様々な場所に集めて新しく販売する車を数台から十数台用意し、順番に試乗させる、という「試乗会」に参加します。それを元にジャーナリストや選考委員は記事を書き、COTYに相応しい車は、どれかを判断するのです。また試乗会に参加出来なかった場合や、更に検証

したい場合はメーカーの広報車を長時間、借りて試乗する場合も有ります。

最近は動画投稿サイトに動画を上げるジャーナリストの方が増え、実際に多くの視聴者が目にしている、それは良い事だと思っていますが、個人的に気になるのが、かつての様な、愛のある叱咤が減っているという事です。確かに最近の車で「酷い」ものなど存在はしないのですが、その批評の内容や構成（美点や要改善点の割合）が全ての車に対して、あまり変わらないのです。

まるで不文律が存在するかのように8割～9割が高評価で残りの1割～2割で改善を求める、という具合です。諸外国のジャーナリストの記事や動画を観てみると、時に



安東 弘樹 (あんど う ひろき)

1967年神奈川県生まれ。フリーアナウンサー。1991年にTBSテレビに入社後、報道やバラエティなど、さまざまなテレビ・ラジオ番組を担当。自動車運転免許を取得した19歳から現在までに、45台以上のクルマを乗り継ぐ経験と知識を生かし、活躍の場を広げている。現在はTBSラジオ「UP GARAGE presents GARAGE HERO's〜愛車のこだわり〜」、TOKYO MX「バラいるダンディ」、テレビ東京「ミライの歩き方」、bayfm78「MOTIVE!!」など多くのテレビ、ラジオ番組で活躍。2017年より「日本カー・オブ・ザ・イヤー(COTY)」選考委員。



は感情的になり、「この部分は全く理解出来ない」「メーカーの妥協を感じる」などの表現が見受けられ、時には“disgusting”（不快である）という言葉を使う場合もあります。日本のジャーナリストが忖度している訳では無く、「文化の違い」という部分もあるとは思いますが、メーカーの広報が近くにいても、諸外国のジャーナリストはお構いなしです。また電気自動車の航続距離を測る、といった数字で見せられる検証などは、実際に満充電からバッテリーが完全に空になって車が止まってしまうまで走らせ、その距離を測ります。メーカーとしては車に負担が掛かるため、そんな検証はさせたくないでしょうが、特に欧米ではユーザーの為の検証を邪魔する事は出来ない、という「文化」を感じます。日本では何故かジャーナリストが配慮して、メーカーが嫌がることはしません。むしろ一般のユーザーが自らの所有車を使ってメーカーに遠慮せずに欧米ジャーナリストの様な検証をしている状況です。皮肉な事にCOTY選考委員の私が一般の方の動画を参考にすることがある位です。

私は選考委員ではありますがジャーナリストではありません。しかし同様の役割を果たすべきだと思っていますので、この状況を打破すべく、少しずつ、行動で示しているつもりではあります。

そしてこれはエンターテインメントの世界では更に顕著で、現在放送映像メディアで、映画や舞台、音楽ライブなどの批評を目にする事は希有になりました。数十年前までは、確かに辛辣な批評を目にする事もありましたが、現在は、この世界でも一般の動画投稿者が、その役割を果たしています。そもそもインターネットの時代に「批評家」が必要かどうか、という論調も理解できますが、一般の方より知識も経験も多いはずの批評家の言葉が「必要ない」とは思えません。だからこそ、配慮や忖度を完全に廃した批評が必要なのではないのでしょうか。自戒も込めてしたためました。

.....
物事を評価するうえでは配慮や忖度のない批評が必要だという安東さん。リントックも株主・投資家の皆様からのさまざまな声を受け、それにお応えすることで、企業価値の向上と持続的成長を目指していきます。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

| (単位：百万円) | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 |
|----------------|----------------|----------------|
| 流動資産 | 171,936 | 182,224 |
| 固定資産 | 132,945 | 120,640 |
| ① 資産合計 | 304,881 | 302,865 |
| 流動負債 | 59,823 | 72,382 |
| 固定負債 | 17,906 | 20,724 |
| ② 負債合計 | 77,730 | 93,107 |
| ③ 純資産合計 | 227,150 | 209,758 |
| 負債純資産合計 | 304,881 | 302,865 |

連結損益計算書及び連結包括利益計算書(要約)

| (単位：百万円) | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 |
|-------------------------------|----------------|----------------|
| ④ 売上高 | 284,603 | 256,836 |
| 売上総利益 | 63,174 | 65,137 |
| 販売費及び 一般管理費 | 49,378 | 43,553 |
| ⑤ 営業利益 | 13,796 | 21,584 |
| 経常利益 | 15,602 | 22,698 |
| 税金等調整前 当期純利益 | 15,862 | 23,230 |
| ⑥ 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 11,512 | 16,641 |
| 包括利益 | 27,307 | 24,515 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

| (単位：百万円) | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 |
|----------------------|-------------|-------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 5,936 | 24,642 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △12,138 | △19,644 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △12,775 | △14,455 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | 2,231 | 2,425 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 33,857 | 50,603 |

① 設備投資の増加などによる「現金及び預金」の減少がありましたが、米国での事業買収や調達コストの上昇による「棚卸資産」の増加、成長分野への積極投資による「有形固定資産」の増加などにより、総資産は20億16百万円増加しました。

② 「支払手形及び買掛金」の減少などにより、負債は153億76百万円減少しました。

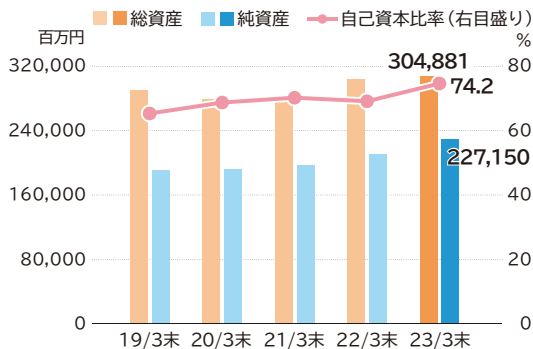
③ 自己株式の取得による減少がありましたが、円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は173億92百万円増加しました。

④ 米国での事業買収の効果で印刷・情報材事業部門が大幅に増加したことなどにより、売上高は277億66百万円増加しました。

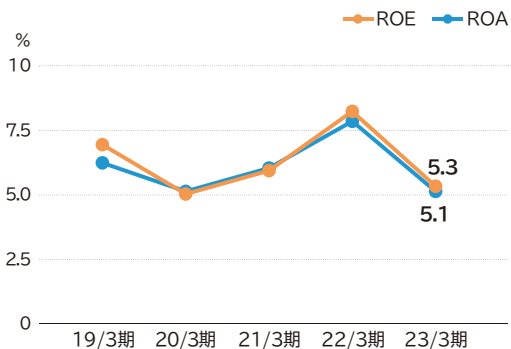
⑤ 円安による増益効果はありましたが、原燃料価格上昇の影響を大きく受けたことなどにより、営業利益は77億87百万円減少しました。

⑥ 円安の進行により為替差益は増加しましたが、営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は51億28百万円減少しました。

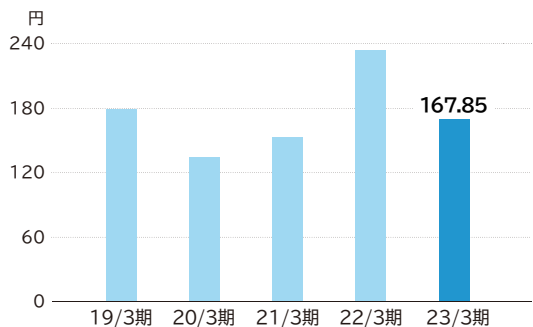
総資産・純資産・自己資本比率



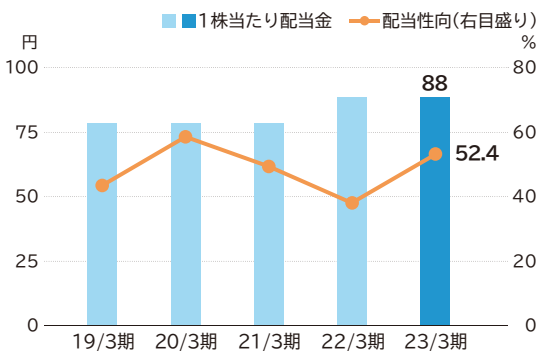
ROE (自己資本当期純利益率)・ROA (総資産経常利益率)



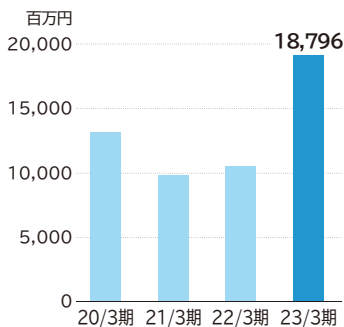
1株当たり当期純利益



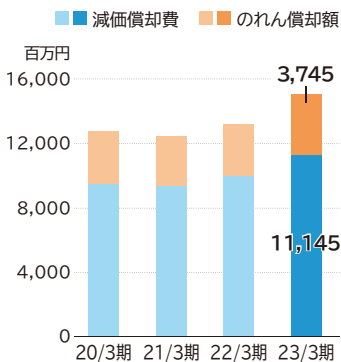
1株当たり配当金・配当性向



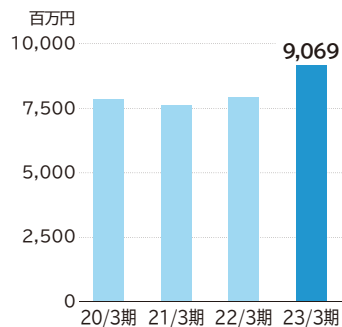
設備投資額



減価償却費・のれん償却額



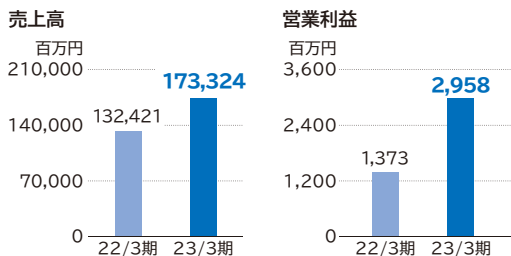
研究開発費



印刷材・産業工材関連 (前期比)

売上高 **1,733億24**百万円 (30.9%増)

営業利益 **29億58**百万円 (115.4%増)



印刷・情報材事業部門 (前期比)

売上高 **1,400億10**百万円 (38.2%増)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



産業工材事業部門 (前期比)

売上高 **333億14**百万円 (7.0%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

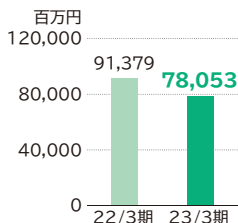
- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では食品や飲料キャンペーン用などの需要が低調だったものの、各種環境配慮製品の新規採用が進んだほか、物流や医薬関連の需要も堅調でした。海外では米国が買収効果で大きく伸長し、アセアン地域も堅調に推移しました。
- 産業工材事業部門は国内ではウィンドーフィルムが堅調に推移したほか、装飾用フィルムの需要が増加しました。海外では米国、アセアン地域においてウィンドーフィルムや自動車用粘着製品などが堅調に推移しました。
- セグメント営業利益は原燃料価格や物流コストが上昇したものの、米国子会社の損益が大幅に改善したこともあり、前期に比べ増加しました。

電子・光学関連 (前期比)

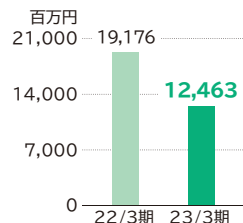
売上高 **780億53**百万円 (14.6%減)

営業利益 **124億63**百万円 (35.0%減)

売上高



営業利益



アドバンスマテリアルズ事業部門 (前期比)

売上高 **614億55**百万円 (8.9%減)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



オプティカル材事業部門 (前期比)

売上高 **165億97**百万円 (30.7%減)

主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



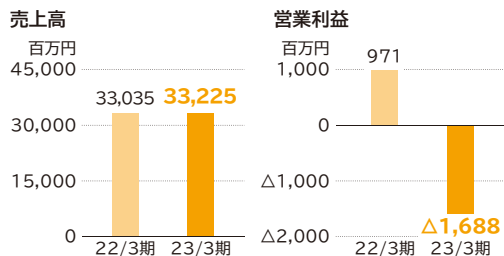
事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンスマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープが、秋口以降にスマートフォンやパソコン用などの需要減少の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- オプティカル材事業部門は車載用タッチパネル関連製品が伸長したものの、光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビやスマートフォン用などの需要減少の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益は単体での生産設備の操業度低下の影響を受けたことなどもあり、前期に比べ減少しました。

洋紙・加工材関連 (前期比)

売上高 **332億25**百万円 (0.6%増)

営業利益 **△16億88**百万円 (-)



洋紙事業部門 (前期比)

売上高 **161億34**百万円 (5.2%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



加工材事業部門 (前期比)

売上高 **170億90**百万円 (3.4%減)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は主力のカラー封筒用紙が前期並みとなったほか、ファストフード向けの耐油耐水紙や学童向けの色画用紙が堅調に推移しました。
- 加工材事業部門は炭素繊維複合材料用工程紙がスポーツ・レジャー用品向けで堅調に推移しましたが、電子材料用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムは、秋口以降に需要減少の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格上昇などの影響を大きく受け、営業損失となりました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

会社概要 (2023年3月31日現在)

| | |
|-------|---|
| 社名 | リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation) |
| 本社 | 東京都板橋区本町23-23 |
| 設立 | 1934年10月15日 |
| 資本金 | 233億5,598万1,761円 |
| 上場 | 東京証券取引所プライム市場 |
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 従業員数 | 連結: 5,418人 単体: 2,620人 |
| 事業所 | 営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム) |
| 連結子会社 | 国内: 3社 海外: 38社 |

役員一覧 (2023年6月22日現在)

取締役

| | |
|---------|-----------------|
| 代表取締役会長 | 大内 昭彦 |
| 代表取締役社長 | 社長執行役員 服部 真 |
| 取締役 | 専務執行役員 望月 経利 |
| 取締役 | 専務執行役員 海谷 健司 |
| 取締役 | 常務執行役員 柴野 洋一 |
| 取締役 | 常務執行役員 松尾 博之 |
| 取締役(社外) | 瀬邊 明 |
| 取締役(社外) | 独立 大岡 哲 |
| 取締役(社外) | 独立 奥島 晶子 |

執行役員

| | |
|--------|-------|
| 常務執行役員 | 月田 達也 |
| 常務執行役員 | 菅谷 俊巳 |
| 常務執行役員 | 吉武 正昭 |
| 常務執行役員 | 持田 欣也 |
| 常務執行役員 | 峯浦 芳久 |
| 執行役員 | 西角 尚志 |
| 執行役員 | 所司 悟 |
| 執行役員 | 妹尾 秀男 |
| 執行役員 | 三宅 英樹 |
| 執行役員 | 山本 直樹 |
| 執行役員 | 青木 智 |
| 執行役員 | 沼澤 英樹 |
| 執行役員 | 川上 豪毅 |
| 執行役員 | 喜井 大介 |
| 執行役員 | 木村 慶太 |

監査等委員である取締役

| | |
|---------------|------------------|
| 取締役/監査等委員 | 木村 雅昭 |
| 取締役(社外)/監査等委員 | 独立 大澤 加奈子 |
| 取締役(社外)/監査等委員 | 独立 杉本 茂 |

株式情報 (2023年3月31日現在)

株式の状況

| | |
|--------------------------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 300,000,000株 |
| 発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く) | 68,358,849株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 8,904人 |

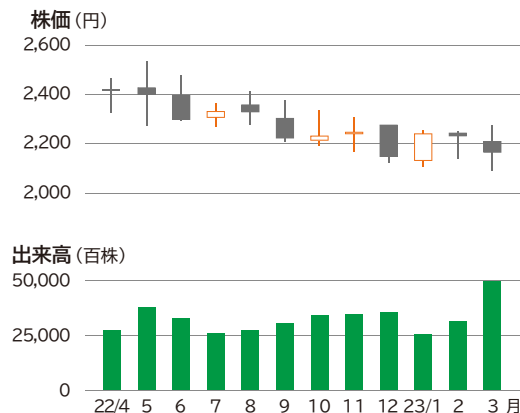
大株主の状況 (上位10位)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 日本製紙株式会社 | 21,293 | 31.14 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 6,629 | 9.69 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 4,240 | 6.20 |
| 全国共済農業協同組合連合会 | 2,312 | 3.38 |
| 庄司 たみ江 | 1,796 | 2.62 |
| リンテック従業員持株会 | 1,226 | 1.79 |
| 塩飽 恵以子 | 1,043 | 1.52 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 998 | 1.46 |
| 塩飽 一誉子 | 803 | 1.17 |
| 庄司 早木子 | 797 | 1.16 |
| 庄司 光江 | 797 | 1.16 |

注1. 当社は自己株式8,329,891株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2022年4月~2023年3月)



IRメール配信サービスのお知らせ

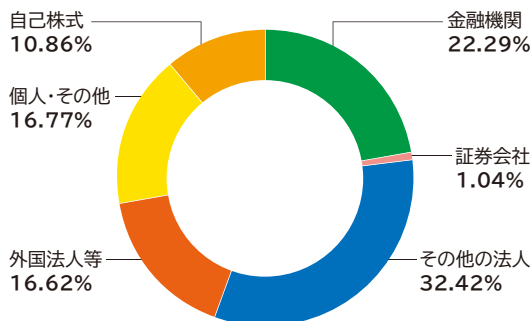
当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

所有者別分布比率



..... アンケートへのご協力のお願い

当社では、より質の高いIR活動を推進していくために、読者の皆様のご意見やご要望を幅広くお聞かせいただきたいと考えております。つきましては、添付のはがき、またはインターネット(裏表紙参照)にてご回答いただけましたら幸いです。何とぞご協力のほどお願い申し上げます。(2023年9月30日締め切り)

なお、ご回答いただいた皆様には、後日お礼として「2024年版リンテック・オリジナルカレンダー」を送付させていただきます。*発送は11月中旬以降を予定しています。回答はお一人につき1件まで有効とさせていただきます。

質問1

当社株式への投資についてご質問します。

① 当社株式を保有されていますか？
それは何株ですか？

- | | |
|---------------|----------------|
| ア. 5千株以上 | エ. 100株～200株未満 |
| イ. 1千株～5千株未満 | オ. 100株未満 |
| ウ. 200株～1千株未満 | カ. 保有していない |

※ ①でカ. を選ばれた方は **質問2** にお進みください。

② 保有期間はどのくらいですか？

- | | |
|-------------|------------|
| ア. 10年以上 | エ. 1年～3年未満 |
| イ. 5年～10年未満 | オ. 1年未満 |
| ウ. 3年～5年未満 | |

③ 当社を知ったきっかけは何ですか？

- ア. 会社四季報などの投資情報誌を見て
- イ. 新聞記事を読んで
- ウ. インターネットの記事やSNSを見て
- エ. 証券会社からの情報で
- オ. 新聞広告を見て
- カ. 看板広告を見て
- キ. 自分や知人が勤めている(いた)
- ク. その他()

④ 当社株式を保有する理由として当てはまるものは何ですか？(複数回答可)

- ア. 株価の値上がりが期待できるから
- イ. 配当金が魅力的だから
- ウ. リンテックのファンだから
- エ. 当誌「LINTEC WAVE」を読むのが楽しみだから
- オ. リンテック・オリジナルカレンダーが好きだから
- カ. 自分や知人が勤めている(いた)から
- キ. その他()

質問2

当誌「LINTEC WAVE」(以下「WAVE」)や当社の広報・IR活動についてご質問します。

① 皆様には3か月ごとに「WAVE」をお届けしていますが、どの程度読まれていますか？

- | | |
|----------------|---------------|
| ア. ほぼ全ページを読む | ウ. 全体的に軽く目を通す |
| イ. 興味のあるページは読む | エ. ほとんど読まない |

② 今号の「WAVE」で興味深かったページ、分りにくかったページがあれば教えてください。(複数回答可)

- | | |
|---------------|-----------------|
| ア. 1年間の主な動き | オ. LINTEC ESSAY |
| イ. 社長インタビュー | カ. 決算情報 |
| ウ. FRONT LINE | キ. セグメント情報 |
| エ. 新聞広告シリーズ | |

③ 「WAVE」に掲載してほしい情報は何ですか？(複数回答可)

- ア. 経営方針・戦略
- イ. 事業内容
- ウ. 製品・技術情報
- エ. サステナビリティ情報
- オ. 拠点の情報
- カ. 社員紹介
- キ. その他()

④ 当社新聞広告を御覧になったことはありますか？

- | | |
|---------------|-------|
| ア. ある 新聞名() | イ. ない |
| ウ. 新聞を購読していない | |

質問3

当社へのご意見・ご要望、「WAVE」や広告についてのご感想などをぜひお聞かせください。(記述回答)

ご協力ありがとうございました。

株主メモ

| | |
|---------------------------------|--|
| 定時株主総会 | 6月 |
| 配当基準日 | 期末：3月31日 中間：9月30日 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| ・郵便物送付先 | 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| ・フリーダイヤル | ☎ 0120-232-711 |
| ・ホームページアドレス | www.tr.mufg.jp/daikou |
| 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について | 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。 |
| 未払配当金の支払いについて | 株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。 |
| 株主総会資料の電子提供制度開始に伴う書面交付請求に関するご案内 | 株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。 |
| 法定公告掲載ホームページアドレス | www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html |

2024年版オリジナルカレンダープレゼントのお知らせ

本誌19ページの読者アンケートにお答えいただいた皆様には、後日、当社オリジナルカレンダーを送付させていただきます。本誌付属のはがき（切手不要）がインターネット（下記二次元コードからアクセス）でご回答いただけますので、ぜひご協力ください。



www.lintec.co.jp/enq91

※インターネットによるご回答にはメールアドレスが必要です。



※画像は2023年版カレンダー



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2023年6月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ（結合）とテクノロジー（技術）。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE（結合）・LOYALTY（誠実）の三つの「L」で表現したウェーブ（波）を組み合わせデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。